

# 知識を片手にさあ旅立とう！ 北海道胆振地域の自然スポット巡りへ！！ ワンダーいぶり★ネイチャーMAP

## ワンダーいぶり★ネイチャーMAPとは…

美しい自然景観も、そこにある物語、知識を理解して巡るともっと楽しめるはず…

「ワンダーいぶり★ネイチャーMAP」は、北海道胆振地域にある自然スポットをクイズ形式で紹介し、より知識を高めていただき、皆様の旅に新たな発見・感動を「プラスONE」していただくためのMAPです。

火山活動によって誕生した美しい湖や今なお活動し続ける火山、太古の生物化石など、地球の生命活動が感じられる北海道胆振地域の自然スポットが皆様を待っています。

さあ！このMAPで学んだ知識を片手にちょっとした冒険の旅に出かけてみませんか。

### ①岩屋洞窟 (豊浦町)



洞窟に安置されている観音像の通称は何でしょう？

1. 耳なし観音
2. 首なし観音
3. 口なし観音

### ②カムイチャン史跡公園 (豊浦町)



「カムイチャン」とはどういう意味でしょう？

1. 神のとりで
2. 高台の丘
3. ホタテの貝塚

### ③洞爺湖 (洞爺湖町ほか)



洞爺カルデラができたのはいつでしょう？

1. 約7000年前
2. 約1～2年前
3. 約11万年前

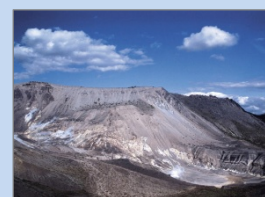
### ④昭和新山 (壮瞥町)



昭和新山の成長を記録していたのは誰でしょう？

1. 松浦 武四郎
2. 三松 正夫
3. 大森 房吉

### ⑤有珠山 (伊達市ほか)



2001年の調査で新たに発見された噴火はどれでしょう？

1. 文政噴火
2. 先明和噴火
3. 寛文噴火

### ⑥三階滝 (伊達市)



三階滝の河床に露出している岩石は何でしょう？

1. 花崗閃緑岩
2. 蛇紋岩
3. 結晶質石灰岩

### ⑦北黄金貝塚 (伊達市)



縄文時代、この道具は何に使われていたでしょう？

1. マッサージ器
2. 印鑑
3. すりこぎ

### ⑧地球岬 (室蘭市)



地球岬を形成している主な岩石は何でしょう？

1. 石灰岩
2. 砂岩
3. 凝灰岩

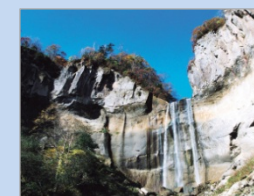
### ⑨大湯沼 (登別市)



昔、大湯沼で行われていたのはなんでしょう？

1. 硫黄の採取
2. 釣り
3. 水泳大会

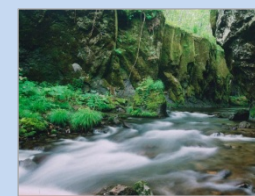
### ⑩インクラの滝 (白老町)



滝の側面に見られる地質構造は何？

1. 枕状溶岩
2. 柱状節理
3. 活断層

### ⑪樽前ガロー (苫小牧市)



樽前ガローの両岸の崖を覆っている植物は何でしょう？

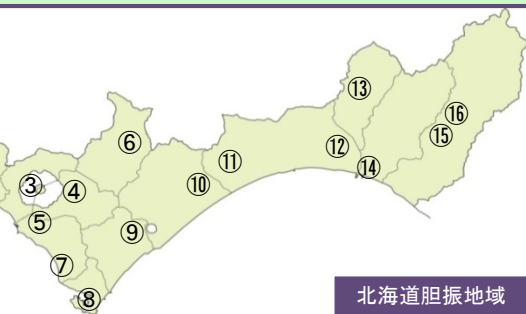
1. 草
2. コケ
3. シダ

### ⑫ウトナイ湖 (苫小牧市)



ウトナイ湖はいつの時代にできたでしょう？

1. 古墳時代
2. 弥生時代
3. 縄文時代



北海道胆振地域



北海道

## ジオパークってなに？

ジオパークとは、学術的に貴重な地質や自然を有する自然公園のことです。

2004年にユネスコの支援により、世界ジオパークネットワークが設立され、日本からも2011年9月現在で5カ所が認定されています。

北海道胆振地域には、その中の1つである「洞爺湖有珠山ジオパーク」があります。

「洞爺湖有珠山ジオパーク」では、有識者の解説による現地学習会やガイド（有珠火山マイスター）の養成、噴火遺構を活用した散策路の整備など、ジオパークの資源を生かして、観光振興や教育活動、ジオパークの普及などに取り組んでいます。

答えは裏にあるワン！

作成：北海道胆振総合振興局 食と観光戦略推進室  
内容に関する問い合わせ先：TEL 0143-24-9592  
※平成23年9月現在の情報等をもとに作成しています。



胆振総合振興局イメージキャラクター「いぶりONE」

※①～⑦までの自然資源は、洞爺湖有珠山ジオパークのジオサイト(ジオパークの特徴的な地形・地質を観察できる場所)です。  
※洞爺湖有珠山ジオパークは、洞爺湖周辺1市4町(伊達市、豊浦町、洞爺湖町、壮瞥町)により構成されています。

# ワンダーいぶり★ネイチャーMAP 答えと解説

※下記の問い合わせ先は、あくまで観光に関することに限って対応する窓口ですので、MAPの内容についての問い合わせは、胆振総合振興局観光室までお願いします。

|  |   |   |   |
|--|---|---|---|
| <p>①岩屋洞窟（豊浦町） <a href="#">答え→2</a></p> <p>1666年に安置された岩屋観音は、礼文華山道を歩いていた僧が熊に襲われ小幌洞窟に逃げ込んだ際に、岩屋観音が僧の身代わりとなって熊に首を食いちぎられたことから「首なし地蔵」と呼ばれたと言い伝えられています。</p> <p>岩屋洞窟へは、JR小幌駅より徒歩または漁船で行くことができますが、JR小幌駅への交通手段は列車のみで、しかも停車する列車の本数も少ないため、鉄道ファンの間では「秘境駅」として有名です。</p> <p>【岩屋洞窟】<br/>所在地：虻田郡豊浦町字礼文華<br/>問い合わせ先：豊浦町教育委員会生涯学習課社会教育係<br/>TEL：0142-83-2239</p>                               | <p>②カムイチャシ史跡公園（豊浦町） <a href="#">答え→1</a></p> <p>アイヌ語でカムイは「神」を、チャシは「とりで」を意味しています。チャシの入口にある壕（人工的に作られた掘削）の内側から発見された多くの玉石は、つぶて石あるいは祭祀用の石と考えられます。</p> <p>カムイチャシ史跡公園は、平成22年には、国の景勝文化財「ピリカノカ」に指定され、公園内には木製の遊歩道や東屋が整備され、展望台からは大きくくっきりと広がる噴火湾を一望することができます。</p> <p>【カムイチャシ史跡公園】<br/>所在地：豊浦町小幌<br/>問い合わせ先：豊浦町水産商工振興課商工観光係<br/>TEL：0142-83-1408</p>                     | <p>③洞爺湖（洞爺湖町、壮瞥町） <a href="#">答え→3</a></p> <p>11.2～11.5万年前に発生した噴火により、大量の火砕流が地表に放出されて洞爺カルデラが形成されました。噴火はとても大規模で、噴火による噴出物は洞爺湖北岸から現在の羊蹄山麓一帯や伊達市付近に堆積し、平原を作りました。伊達市付近を流れる長流川下流の露頭で当時の堆積地層を見ることができます。</p> <p>洞爺湖周辺には、全国的に有名な洞爺湖温泉や壮瞥温泉があり、カヌーやホーストレッキングなど自然と触れ合うことのできる体験型観光を楽しむことができます。</p> <p>【洞爺湖温泉】<br/>所在地：虻田郡洞爺湖町洞爺湖温泉<br/>問い合わせ先：一般社団法人洞爺湖温泉観光協会<br/>TEL：0142-75-2446</p> | <p>④昭和新山（壮瞥町） <a href="#">答え→2</a></p> <p>昭和新山は1943～1945年の火山活動により形成された溶岩ドームが特徴的な火山です。火山生成当時、壮瞥村の郵便局長であった三松正夫氏は昭和新山の成長過程を克明に記録し、『ミマツダイヤグラム』と呼ばれる世界的に有名な資料を作成しました。ミマツダイヤグラムは、昭和新山の麓にある三松正夫記念館に展示されています。他にも昭和新山山麓には、地元特産牛を使った「あか牛カレー」を味わえるレストランや熊牧場など観光スポットが満載です。</p> <p>【三松正夫記念館】<br/>所在地：有珠郡壮瞥町昭和新山184-12<br/>問い合わせ先：三松正夫記念館<br/>TEL：0143-75-2365</p>                      |
| <p>⑤有珠山（伊達市、洞爺湖町、壮瞥町） <a href="#">答え→2</a></p> <p>有珠山では1663年から現在に至るまで9回の噴火が発生しました。文献に載っていない先明噴火といわれる噴火があったことも2000年噴火以降の調査で判明しました。</p> <p>有珠山頂駅へは、有珠山ロープウェイを使って行くことができ、外輪山遊歩道を散策すれば展望台から今も盛んに水蒸気が噴出している「銀沼火口」などを見ることができます。</p> <p>【有珠山ロープウェイ】<br/>所在地：有珠郡壮瞥町昭和新山184-5<br/>問い合わせ先：NPO法人そうべつ観光協会<br/>TEL：0142-66-2750</p>   | <p>⑥三階滝（伊達市） <a href="#">答え→1</a></p> <p>三階滝の河床に見られる岩石は花崗閃緑岩（かこうせんりょくがん）です。花崗閃緑岩は深成岩という、マグマが地表に噴出する前に固結した岩石の一種で、道南地方の一部に分布する古第三紀花崗岩類と関連があると考えられています。</p> <p>三階滝では四季それぞれに違う景観を楽しむことができ、三階滝公園にはレストランやたくさんのトーテムポールが立つ丘、体験型観光を楽しめる工芸館などの魅力的な観光スポットもあります。</p> <p>【三階滝公園】<br/>所在地：伊達市大滝区本町85<br/>問い合わせ先：伊達市大滝総合支所地域振興課<br/>TEL：0142-68-6111</p>                   | <p>⑦史跡北黄金貝塚（伊達市） <a href="#">答え→3</a></p> <p>これはクルミの殻を割ったり、ドングリを粉にするために、「すりこぎ」として使われた道具（すり石）だと言われてます。しかし、すりつぶされるものが本当に木の実なのか、あるいは干した魚などなのかははまだ確証がありません。</p> <p>史跡北黄金貝塚の展示施設にはボランティアのガイドさんがおり、貴重な土器や調度品などの展示品や当時の環境などについてわかりやすく解説してくれます。</p> <p>【史跡北黄金貝塚】<br/>所在地：伊達市北黄金町75<br/>問い合わせ先：北黄金貝塚情報センター<br/>TEL：0142-24-2122</p>  | <p>⑧地球岬（室蘭市） <a href="#">答え→3</a></p> <p>地球岬を形成する主な岩石は、大昔に室蘭市の絵鞆半島（えともはんとう）付近で発生したと考えられる火山活動により噴出した火山噴出物が堆積した凝灰岩です。その後凝灰岩は地下に流入したマグマによって押し上げられ、現在のような高く険しい断崖を形成しました。</p> <p>チキウ岬展望台からは、眼下に約120メートルの絶壁に立つ白亜で八角形の灯台とともに、天気の良い日には遠く駒ヶ岳や恵山岬など渡島半島の一部が眺望できます。</p> <p>【チキウ岬】<br/>所在地：室蘭市母恋南町4丁目<br/>問い合わせ先：室蘭市経済部観光課<br/>TEL：0143-25-3320</p>                                   |
| <p>⑨大湯沼（登別市） <a href="#">答え→1</a></p> <p>登別温泉にある大湯沼は、過去1万年近くの間、クツラ火山が噴火を繰り返したことによりできた爆裂火口跡にたまった湯だまり（熱水湖）です。地下から湧出する二酸化炭素や硫化水素を含む食塩泉が、周囲から流入する地表水と化学反応を起こして、遊離した硫黄を沼底に沈積するため、かつて硫黄の採取が行われていました。</p> <p>登別温泉には、大湯沼以外にも大湯沼川天然足湯や地獄谷など、温泉資源をいかした観光スポットがたくさんあり、9種類もの温泉が湧き出す日本有数の温泉郷として人気があります。</p> <p>【登別温泉】<br/>所在地：登別市登別温泉町<br/>問い合わせ先：一般社団法人登別観光協会<br/>TEL：0143-84-3311</p>  | <p>⑩インクラの滝（白老町） <a href="#">答え→2</a></p> <p>柱状節理（ちゅうじょうせつり）とは、火山噴出物が冷え固まって岩石になる時に収縮してできる、六角柱状の亀裂のことです。インクラの滝の柱状節理は、近くにある樽前山の噴火により放出された火山噴出物が自らの高温で溶けた後に、冷え固まって溶結凝灰岩になるときできたものと考えられます。</p> <p>他にも、白老町には、アイヌ民族博物館や白老陣屋跡など、地域の歴史や文化を楽しく学べる魅力的な観光スポットがたくさんあります。</p> <p>【インクラの滝】<br/>所在地：白老郡白老町字社台<br/>問い合わせ先：一般社団法人白老観光協会<br/>TEL：0144-82-2216</p>              | <p>⑪樽前ガロー（苫小牧市） <a href="#">答え→2</a></p> <p>樽前ガローは、樽前山の噴火により噴出した火山噴出物が堆積・固結してできた堆積岩である凝灰岩の台地が、流水に浸食されて形成された急崖地形です。</p> <p>急な崖の岩肌には、エビゴケなど様々な種類のコケが一面に張り付いており、緑のカーテンのような特異な風景を演出しています。他にもミズナラやタケカンバなどの植物や野鳥のさえずりを楽しむことができる癒しの観光スポットです。</p> <p>【樽前ガロー】<br/>所在地：苫小牧市樽前<br/>問い合わせ先：一般社団法人苫小牧観光協会<br/>TEL：0144-34-7050</p>   | <p>⑫ウトナイ湖（苫小牧市） <a href="#">答え→3</a></p> <p>約6000年前、縄文時代の海進（海面上昇）の影響でウトナイ湖周辺は全て海でしたが、その後の海退（海面の低下）により、約5000年前頃には、陸地に取り残された海水によりウトナイ湖ができました。</p> <p>ウトナイ湖は工業都市・苫小牧に近接しながらも、多様な生態系が保たれている貴重な湿地帯で、ラムサール条約登録湿地にも指定されています。植物の宝庫、野鳥の楽園として知られ、特に鳥類はカモや白鳥等250種以上が確認されており、四季を通して自然とのふれあいが楽しめます。</p> <p>【ウトナイ湖】<br/>所在地：苫小牧市植苗150<br/>問い合わせ先：一般社団法人苫小牧観光協会<br/>TEL：0144-34-7050</p> |
| <p>⑬安平山（安平町） <a href="#">答え→2</a></p> <p>安平町（あびらちょう）にあるこの山は、「安平山」と書いて「あんべいさん」と読みます。「あんべい」はアイヌ語の「アン・ペイ（湿ったところ）」が語源で、山の周りが湖沼に囲まれているためだと考えられています。一方、町名となっている「あびら」はアイヌ語で「アラ・ピラ・ペツ（片側に崖のある川）」が語源で、町内を安平川が貫いている様子からこのように名付けられたと考えられています。</p> <p>安平山は、夏は麓でパークゴルフ場、冬はスキー場として多くの方が訪れます。</p> <p>【安平山スキー場】<br/>所在地：勇払郡安平町追分豊栄193<br/>問い合わせ先：安平町教育委員会社会教育グループ<br/>TEL：0145-25-2514</p> | <p>⑭浜厚真海岸（厚真町） <a href="#">答え→3</a></p> <p>太平洋に面した厚真町の浜厚真海岸は、その遠浅の地形によりサーフィンに適した波が打ち寄せ、その波を求め、道内外から年間約6万人ものサーファーが訪れる全道No.1のサーフスポットです。ぜひ一度、浜厚真海岸でサーフィンにチャレンジしてはいかがでしょう。</p> <p>他にも、浜厚真海岸周辺には、バギー専用サーキットのある浜厚真オフロードパークや、サッカー専用競技場のある浜厚真野原公園など、大自然の中でスポーツを楽しむことのできるスポットがたくさんあります。</p> <p>【浜厚真海岸】<br/>所在地：勇払郡厚真町浜厚真<br/>問い合わせ先：厚真町観光協会<br/>TEL：0145-29-7711</p> | <p>⑮穂別地球体験館（むかわ町） <a href="#">答え→3</a></p> <p>穂別地球体験館は、巨大ジオラマや温度、音、光などを使って、地球の様々な環境を再現した学習施設です。現在は、熱帯雨林、太古の海、砂漠、マグマの海、氷河期、大気圏、海洋底、宇宙の8種類の地球環境を体験することができます。</p> <p>館内で地球環境についてわかりやすく解説をしてくれるのが、サイエンスガイドの皆さんです。サイエンスガイドの皆さんが自ら考えた企画で、地球の自然や環境について楽しく学ぶことができます。</p> <p>【穂別地球体験館】<br/>所在地：勇払郡むかわ町穂別79-5<br/>問い合わせ先：穂別地球体験館<br/>TEL：0145-45-2341</p>                           | <p>⑯穂別博物館（むかわ町） <a href="#">答え→1</a></p> <p>この全身骨格は、むかわ町穂別の山奥から発見されたクビナガリユウ化石を元に作られました。エラスモサウルス科に含まれると考えられていて、発見地と発見者の名前からホベツアラキリュウと名づけられました。穂別を含めて北海道中軸部に分布する、白亜紀の海底でできた堆積層から発見されました。</p> <p>穂別博物館には、これ以外にもモササウルスやアンモナイトなど、町内で発見された数多くの化石が展示されています。</p> <p>【穂別博物館】<br/>所在地：勇払郡むかわ町穂別80-6<br/>問い合わせ先：穂別博物館<br/>TEL：0145-45-3141</p>                                       |

※ 平成23年9月現在の情報をもとに作成しているため、季節等によっては立ち入り禁止になるスポット・施設もありますので、あらかじめ問い合わせ先にご確認の上、訪れることをおすすめします。

※ 内容については、基本的には文献や各市町・観光協会HP等の情報をもとに作成しておりますが、一部、伝聞・言い伝え等による記述もあることから、他説もあり得ることについてあらかじめご了承ください。